

自動車盗対策

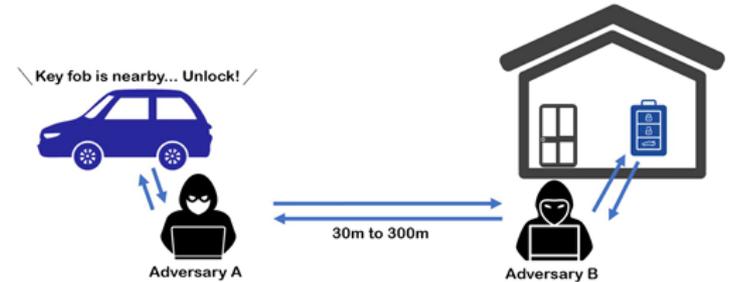
米国における自動車盗の現状

●2024年中、全米で、850,000台の自動車盗が盗難被害（2025.7.9付The Tennessean報道）。

●テネシー州における2024年中の自動車盗発生件数は24,336件。

●FBI統計によると2019年から2023年にかけて、自動車盗の犯罪発生率は上昇していたものの、2023年以降は低下傾向にある（FBIサイト抜粋）。

自動車盗の手口



●無施錠・車内に鍵を保管

●リレーアタック

複数人での犯行。自宅に保管されたリモートキー（または車両を離れたオーナーが所持しているもの）の情報を拾い、車両近くに鍵があると自動車を誤認させる（300m離れていても電波をキャッチすることが可能）。

●キープログラマー

特殊なデバイスを車両の回線に直接接続し、車両をハッキングする。犯行時間は接続からハッキングまで数十秒。

●ゲームボーイ

特殊なデバイスを使用し、車両の鍵情報を窃取。当該デバイスは所持しているだけでよく、犯行時間は、キープログラマーよりも短い。

自動車盗対策

● 鍵の保管・管理の徹底

リモートキーの電波を拾われないようにするためには、ガレージの近くに鍵を置かず、金属缶などの中で保管する。

● 警備力の高い駐車場の使用

監視カメラがついていたり、使用者以外が容易に近づけない駐車場を利用する。

● タイヤロック、ブレーキロックなどの導入

自動車メーカーが導入しているセキュリティ対策と合わせることで、窃盗行為を諦めさせる。

